

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 2 月 24 日作成 第 1.0 版

研究課題名	咬筋神経および舌下神経を用いた神経移行術後の、島状側頭筋移行術による修正術の有効性および安全性を検討する観察研究
研究の対象	2019 年 9 月から 2025 年 12 月の間に、顔面神経麻痺の治療のために咬筋神経および舌下神経の移行術を受けた後に、追加の修正手術として島状側頭筋移行術を受けられ、横浜市立大学附属病院形成外科を受診している方が対象です。
研究の目的	顔面神経麻痺の再建手術として行われる神経移行術は有効な治療法ですが、十分に動きが回復しないことがあります。このような場合に、当院では側頭筋（かむための筋肉）を使って表情を再建する修正手術を行っています。本研究の目的は、この修正手術の治療成績や合併症を検討し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、手術の有効性、安全性について検討します。 通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 8 月 7 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2026 年 8 月 7 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	・ 背景情報：年齢、性別、既往歴 ・ 顔面神経麻痺の原因 ・ 手術前の症状の程度 ・ 顔面神経麻痺発症から手術までの期間 ・ 神経移行手術から側頭筋移行術までの期間 ・ 手術の情報（術式など） ・ 治療の効果や合併症の有無
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院形成外科 林 礼人
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は研究費を必要としません。必要になった場合は研究責任者が負担して実施します。 本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 形成外科 （研究責任者） 林 礼人
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 形成外科 （研究責任者） 林 礼人 （問い合わせ担当者） 川端 智貴 電話番号：045-787-2800（代表）	